



令和5年10月27日

## 総合教育会議を踏まえた教育大綱の策定について

10月21日に世田谷区総合教育会議を開催し、区立小・中学生が教育大綱（素案）について、自分たちの意見を発表しました。また、これらの意見も参考に、教育大綱策定に向けた協議を行いました。総合教育会議を踏まえ、区として、新たな教育大綱を11月に策定します。

### 1 教育大綱の策定について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、教育の基本的な枠組みとなる「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」（以下、「教育大綱」という）を、区長と教育委員会を構成員とする総合教育会議で協議のうえ、策定することが定められている。

区では、これまでの総合教育会議で、学びの質の改革を主軸とした様々な議論を積み重ねてきており、それらの議論を踏まえて、新たな教育大綱を策定することとし、令和5年9月に素案をまとめた。\*机上配布資料参照

10月21日の総合教育会議では、教育大綱（素案）に関する意見を7人の小・中学生が発表した。教育大綱（素案）の内容に共感した部分から、「個性」「学び」「仲間」の3つのテーマに分けた発表では、「一人一人が違ってよいもの。意見を否定しないことが大事」、「生活の中で発見し、興味を持ち、追究する。それを活かし、周囲に伝えることで深い学びが得られる」「仲間を尊重しながら個性をつなぎ合わせ協力することが大切」など各々の意見を述べた。さらに、区長と教育委員から小・中学生へ質問をするなど、子どもたちの意見を踏まえて、教育大綱策定に向けた議論をおこなった。

### 2 令和5年度第2回総合教育会議（10月21日開催）の概要

- (1) 日 時 令和5年10月21日（土）正午～午後2時45分
- (2) 形 式 会場傍聴及びオンライン（Zoom）
- (3) ゲ ス ト 区立小学生4人、区立中学生3人
- (4) 主な内容 小・中学生から教育大綱（素案）への意見発表  
区長及び教育委員会から小・中学生への質問  
区長及び教育委員会による意見交換
- (5) 配 信 YouTube 区公式チャンネルでアーカイブ配信中

### 3 今後のスケジュール

令和5年11月 教育大綱策定

12月 区のおしらせ「せたがや」12月1日号・区ホームページ等により周知

問合せ 政策企画課

電話 03 - 5432 - 2032

世田谷区教育大綱  
(世田谷区教育、学術及び文化の  
振興に関する総合的な施策の大綱)

< 素案 >

令和5年9月

学ぶとは、自分自身を見つめ直すこと。

これからやってくる未来に向けて、あたたかく充実した日々を送るために、身体まるごとで問いかけ、思考を深めて、成長をはかる。

これからの時代、最大の課題は「人類と地球の共存」となる。しかも、にわかに正解のない難題であり、子どもと大人は険しい道を行かなければ生き延びることが出来ない時代だ。

「いま」に交錯する難しい課題について、わずかな可能性も見逃さずにとらえ、語り合い希望を紡ぐ。そのために、「いま」を感じて、人と人が力を合わせて認識を研ぎ澄ます学びが、明日をひらく。

この時代に生まれ、地球で暮らすすべての人々が、互いをいつくしみ、助け合って、生命の鼓動をつなぎあう。学びは人を豊かにして、しなやかで強い意志を育てる。その学びを糧として、次世代にとってより良い社会を実現するために、人は働き、支え合い、生きる。

学びの権利は、誰もが持つもの。

この保障と実現こそ、「世田谷の教育」の目指す礎である。さらに、学びの権利を分け隔てなく実現する「誰一人取り残さない社会」を構築していくために、私たちは「世田谷の教育」の意義を共有し、高めていく。

人はひとりひとり違う。性別も、年齢も、育ち暮らす環境も、資質もそれぞれだ。学びの場での気づきや、学びを深める速度やリズムも、それぞれ異なる。それならば学びのあり方も多様となる。

学びの場は、学校だけではなく、家庭であり、地域であり、地球全体だ。また、学ぶ人は、赤ちゃんから、児童であり、学生であり、大人である。子どもは、「未熟な大人」として、くくれない。大人が失いかけた理想や希望により近い、個性を持った「独立した人格」だ。

大人は子どもたちの個性を引き出し、「いま」を生きる日々を大切に、尊厳をもって成長し、学び、遊び、友情を育てる環境を創り、一步一步を踏み出せるように、よりそい導く責任を負っている。

まさに、人間として誰もが持つ生命の鼓動を、やさしく受けとめ、可能性と未来への道を引き出すのが「世田谷の教育」の目的であり、子どもも大人も「世田谷の教育」を創り出す当事者なのである。

ともに人類全体の課題解決に取り組む姿が私たちの明日をつくる。